

第53回インナーゼミナール大会

研究計画書

| | | | |
|--------|---|------|----------|
| ゼミ名 | 森本ゼミ | チーム名 | 裕浜（ゆうひん） |
| タイトル | 南紀白浜を盛り上げよう！ | | |
| テーマ群 | c) 公共経済 e) 産業・企業 | | |
| メンバー | 鷺田晴登 孫田太郎 杉本暁音 山川ちあり 古田萌羽 | | |
| 研究計画内容 | <p>【研究背景】 近年、新型コロナウイルスの流行により、観光業とサービス業は多大な影響を受けた。そこで私たちが着目したのが、関西の大学生がよく訪れる観光地の一つである「白浜」である。白浜は新型コロナウイルスの影響を受けた対象としてだけでなく、我々の研究テーマである都市交通と地域経済のかかわりを語るうえで注目すべき存在である。 そこで今回の研究では、観光客数の変化や現状課題を分析しながら、どのようにすれば白浜を活性化することができるかを検討する。</p> <p>【研究内容】 本研究では、自ら白浜観光業の問題点と現状について仮説を立て、現地役場でのヒアリングや観光地の訪問をした。そして、グラフや資料をもとに観光客数の推移や分布に関するデータの分析を行った。するとコロナ禍で観光客数の著しく減少している点や、コロナ禍以前から外国人観光客が少なく、訪れる人の大半が関西圏からのものであることがわかった。こういった現状に対して、新型コロナウイルスの流行が緩和し、規制の多くが取り払われた今取り組むべき政策に関して提案していく。</p> <p>【期待できる効果】 南紀白浜地域の外国人観光客数や公共交通機関の利用者数の増加が最も期待できる効果である。また南紀白浜地域のように近隣の都道府県からの観光客が多い地域でも同様の政策を実施することで、全国各地に経済効果を及ぼすことも可能かもしれない。</p> <p>【参考文献】 白浜町, 白浜町ホームページ, http://www.town.shirahama.wakayama.jp/i/</p> | | |